

会報

むすび

第35号

平成23年3月吉日

●発行所●  
栃木県青年神職むすび会  
広報委員会

●発行人●  
荒井和宏

●印刷所●  
伴印刷株式会社



植樹祭

## 目次

会長挨拶(十九代会長).....	1
次期会長挨拶(二十代会長).....	2
植樹祭.....	3
家庭祭祀啓蒙ポスター.....	4
大麻奉斎街頭活動\御田植祭・拔穂祭.....	5
祭式研修会\家族親睦会.....	6
一都七県神職野球大会\東日本大震災支援活動.....	7
平成二十二年度むすび会事業報告.....	8
平成二十二年度むすび会役員・幹事名.....	9
新入会員紹介・退会者.....	10
退会者・御結婚・第一子誕生紹介.....	11
広告掲載(協賛社).....	12
編集後記.....	15
お知らせ.....	16



## ◆ ◆ 会長退任挨拶 ◆ ◆

栃木県青年神職むすび会

十九代会長 荒井 和宏

先ずは此の度の東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますと共に、お亡くなりになられた方々へ衷心より哀悼の意を表します。

去る二月十五日の臨時総会に於いて田中教文氏を満場一致にて新会長に目出度く選出し、無事に大任を果たす事が出来ました。図らずも小幡前会長の後を受け大過なく二年間の任期を全う出来ましたこと、神社庁を始め、諸先輩方、会員皆様のご指導とご支援のお陰によるものと厚く御礼申し上げます。

会長就任以来の二年間を思い起こせば先輩方から受け継いだ各種事業・研修会の継続発展、また神宮大麻頒布についての研修会、神道青年全国協議会の諸活動に会員の皆さまには積極的に参加頂き、共に活動させていただきました。これら諸活動を通じ会員一人一人が強い意識と絆を共有する事が出来たと存じます。

臨時総会も終わり新体制への移行を待つばかりとなった三月十一日に襲来した大震災では、いち早く被害状況を取り纏め、素早く体制を整え宮城県へ救援物資を届ける事が

出来ましたのも日頃からの団結があつてこそのことだと思います。神社庁石原庁長様を始め救援物資を提供頂きました会員関係各位、ご支援下さいました皆様にむすび会を代表しまして深く御礼申し上げます。

田中新会長はじめ役員会員の皆様は、これからの二年間むすび会創立五十周年の記念事業など重大な責務を担っておりです。役員はじめ会員一致団結し、斯界の発展のため貢献されることを心よりご期待いたします。また諸先輩方には変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

むすび会には恥ずかしながら定年を二年も越えてお世話になりました。十七年間にわたり共に活動させていただきました。会長在任中には私の力不足を補って下さいました伊藤・田中両副会長を始め役員・会員の皆様、ご指導いただきました。諸先輩方に衷心より感謝申し上げますとともに、当会の益々のご活躍と発展をお祈り申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。有難うございました。



## 次期会長挨拶

栃木県青年神職むすび会

二十代会長 田中 教文

始めに、三月十一日に発生いたしましたマグニチュード九・〇という観測史上最大級の地震及びその後襲来した大津波により、東日本を中心に広範囲に亘り多大な被害が生じ、また多くの尊い命が失われたことに対し哀悼の意を表しますとともに、未だ避難所で不自由な生活を送られている皆様に衷心よりお見舞いを申し上げます。

日頃より、栃木県青年神職むすび会の諸活動・諸事業には格別なる御高配御協力を賜りますこと、先ず以て厚く御礼申し上げます。去る二月十五日に開催されました臨時総会に於いて荒井前会長より禱を受け継ぎ、図らずも第二十代会長に就任することとなりました。もとより浅学非才の上、実績や経験も不足な身ではありますが、執行部の役員共々と手を携えて、歴史と伝統ある当会の更なる発展のため、責務を全うすべく全力を傾注致す所存であります。

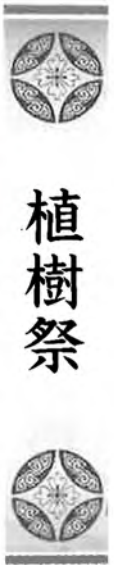
さて、振り返れば我が国日本が急発展を遂げる高度経済成長期といわれる昭和三十七年に当会が産声を上げ、本年度は五十周年の佳節を迎えることとなります。この様な時節に会長の重責を仰せつかりましたことは、身の引き締まる思いであります。諸先輩方は県内の青年神職が将来の斯界を思い、厚い情熱をもち自己研鑽と会員相互の親睦を計る事は勿論、青少年の教化、

社会福祉活動やその時代にあつた様々な独自の活動を、歴代会長のもと展開してこられました。このような先輩方の足跡を顧みますと、五十周年という節目を期に当会も築かれた伝統をより発展させ、次の時代へ継承していかなければならないと強く思う次第です。

国内外に目を向けますと、先の東日本大震災においての甚大なる被害、また福島県の原子炉破損に伴う放射能の問題、災害対策に関する政府への不安、震災の影響による景気・経済の低迷など様々な問題が多発し、時局問題も斯界を揺るがすような一部心無いマスコミなどにより情報が氾濫しています。日本のみならず、世界情勢も混沌とした状況にあり、現代人の心が再び病んできているのではないのでしょうか。

現在斯界を取り巻く環境は、決して安堵出来る状況ではありません。我ら会員一人一人が危機感を以って、時代に即応した活動を展開して行かねばなりません。会員一同一丸となりまして、歴代諸先輩方の奇跡に恥じる事の無いよう力を尽くす所存であります。

五十周年という節目の年にあたり新たな一步を踏み出す栃木県青年神職むすび会に対して、尚一層の御支援を宜しくお願い申し上げます。



創立五十周年記念事業として、矢板市の伊藤副会長が奉仕する塩竈神社で六月九日、植樹祭をおこない、会員二十人が参加しました。平成十四年まで、鎮守の杜の保護育成などを目的に県内各地の神社で植樹を実施。近年は一時中断していたため、今回は八年ぶりの植樹となりました。

当日は、同神社に参拝し、植樹する真榊の苗木と「献木 栃木県青年神職むすび会」と明記した標柱の清祓をおこなった後、伊藤宮司様と同神社の和氣正二総代会会長様の立ち会いの下、会員らが真榊二本を植樹。植樹後には、参加者全員で境内の清掃奉仕もおこないました。植樹を終え会長は、「鎮守の杜の保護育成や環境問題に対する啓蒙活動の一環として、今後も継続事業の一つとしたい」と意欲を語っていました。

(高橋林之介)



心を育てる  
神棚まつり



暮らし — 神さまと共に —



マンションでも工夫して

美しく暮らしに調和した  
神棚

始めてみませんか  
神様と共に暮らす生活

お手入れしやすく



# 家庭祭祀啓蒙ポスター



神宮大麻頒布推進委員会では、家庭祭祀の啓蒙に勤め、以て、神宮大麻のより一層の頒布拡大をはかり、神宮奉賛と氏神神社奉賛を合わせてすすめることを目的に活動をして参りました。

本年は、家庭祭祀の啓蒙と神宮大麻の頒布拡大を、特に若年層の家庭やアパート暮らしの家庭への推進する事業として、若年層へ向けに家庭祭祀のパフレット、パネルやポスターの作成をしました。

初宮詣、七五三詣などで参拝される若年層への啓蒙をはかるように図案を検討いたしました。このパフレットはPDFデータで配布することを前提に計画いたしましたので、印刷部数は200部とし、データは栃木県内の各支部幹事にお渡ししました。

(小堀真洋)



大麻奉斎街頭活動

一千万家庭大麻奉斎を目指し日々街頭にて啓蒙活動を行っておりますが、十一月二十九日にもっと広く一般の方にご理解いただく為に、街頭活動を当会の遷宮特別委員会・神宮大麻頒布推進委員会を中心として宇都宮二荒山神社前にて教化宣伝資料付きのポケットティッシュ、式年遷宮や神宮大麻の由緒書きを配布いたしました。

活動当日は、晴天に恵まれ、参拝者や道行く多くの方々に声をかけ活動を行い中には、お札や神棚についての質問をしてくる方などもおり、昨年に引き続き第二回目となりましたが、有意義な活動が出来ました。

(葭田真彦)



御田植祭・抜穂祭

那須烏山市志鳥の神田に於いて、五月十一日御田植祭、九月二十六日抜穂祭を斎行した。同会では、会員の実家の田園を神田として毎年行っている。

御田植祭当日は、生憎の降雨となった為、神田地区産土神社である愛宕神社(吉田正導宮司)に於いて、御田植の儀を奉告し、稲の生育の順調と秋の豊作とを祈念し、会長・神田主が玉串を奉り拝礼した。

その後、神田に赴き、清祓を執り行い、播種以来神田主により大切に育てられてきた「イセヒカリ」の苗を、参加した会員が植えていった。

稔りの秋には抜穂祭を斎行し、収穫した稲穂は伊勢の神宮の初穂曳きに奉納するほか、県内神社の神宮大麻頒布始祭や会員が奉仕する神社の神前に供えられる。

(金子宗人)



## 祭式研修会

八月三日、栃木県神社庁において祭式研修会が行われ、十八名の会員が参加しました。

当むすび会では会員の相互研鑽を目的として毎年祭式研修会を行っており、今年は柳田文司先生、篠田薫先生を講師にお迎えし、前半ではお二人のご指導のもと祭典の式次第に沿って基本作法の確認が行われました。初心に立ち返り作法をひとつひとつ丁寧に行い、会員どうしでお互いの作法を見直しながら学ぶ姿が印象的でした。

また、後半では衣紋の着装についての指導が行われた。日頃なかなか学ぶ機会が少ない衣紋を身に着けるため何度も着装を繰り返し、皆真剣に取り組んでいました。

参加した会員からは「日頃忘れがちな初心を思い出す事が出来、非常に有意義な研修だった。今回学んだ事をこれからの神明奉仕に活かしたい。」との声が聞かれました。  
(大塚 聡)



## 家族親睦会



夏休みの恒例行事である家族親睦会が、本年は宇都宮市内に於いてボーリング大会と食事会が行われました。

ボーリング大会は、家族ごとに行い、大人・子供の男女それぞれの優勝を競い合いました。ボーリングを初めて経験したお子さんも多く、投げ方を教わったり、親子で一緒にボールを投げる姿がとても印象的でした。家族と過ごす時間をもちにくい会員の皆様も、この日は子供達と楽しい時間を過ごすことが出来たのではないのでしょうか。

また、ボーリング大会終了後の食事会では、会員家族や様々な年代のお子さん同士の交流が始終和やかに行われました。食事の際には、自然と年上の子が年下の子の面倒を見るという光景があり、とても感心致しました。

神社界の将来を担う子供達と接し、神社界全体の後継者問題の重要性を再認識致しました。伝統文化の担い手不足が問題視されており、神社界に於いても同様であり、自分の子供に自信を持って引き継ぐことの出来る神社神道とするべく、神社界全体で取り組まなければ成らないと思われました。  
(上野敬則)





# 一都七県神職野球大会



平成二十二年十月六日神宮外苑に於いて、一都七県神職野球大会が行われました。昨年、一昨年は雨天により中止となり、三年ぶりの開催となりました。また、本会では一昨年にユニホームを新調しており、そのお披露目にもなりました。

大会当日は、本県で行われる行事と重なった為参加人数が不足し、群馬県との合同チームとして出場するため、何とか結果を残したいという気持ちを持っておりました。

今回合同チームを組んだ群馬県の方々は、野球センス抜群の素晴らしい選手ばかりで、事前に練習試合を行い、技術を補いつつ親睦を深めておりました。

当日は、八つのチームが参加するトーナメント方式。本チームは、一回戦に山梨県、二回戦に埼玉県Bチームと当たり、二勝し決勝戦へと進みました。決勝戦は、例年優勝候補に上げられる埼玉県Aチームです。戦況は、投打の勝る埼玉県に押されながらも、必死に食らいつきましたが、結果九対二という結果で、準優勝となりました。

閉会式での講評において「息詰まる試合だった」というお言葉を戴き、群馬県の方々と力を合わせて試合に臨めたことに感謝致しました。

今回の大会参加に於いて、人数不足という本県の問題に対し、真心を持って対応して下さった群馬県の方々に深く感謝致します。また野球というスポーツを通して、各県の方々と親睦を深めることができ、これを機に各県の方々とより深い繋がりが出来ればと思っております。(刀川治久)

# 東日本大震災支援活動



この度、東北地方太平洋沖地震により犠牲に遭われた方々に哀悼の意を表し、災害に遭われた多くの方々を中心に心よりお見舞い申し上げます。

三月十一日午後二時四十六分に発生いたしました『東北地方太平洋沖地震』により被災された方々に、少しでも協力・支援が出来ないものかと、会員一丸となり救援物資の調達を行い、お陰さまで数多くの物資を準備する事が出来ました。

三月二十三日深夜、荒井会長を始めとする七名の会員にて宇都宮を出発、一路宮城県仙台市の大崎八幡宮を目指しました。途中高速道路から見える墓石の倒壊や、瓦屋根やグシが損壊している家屋が今回の地震災害の大きさを表しているようでした。

大崎八幡宮では、小野目宮司様を始め職員の方々に、温かく迎えて頂き会員から預った救援物資を無事お届けする事が出来ました。

また、人的・物的支援を含め、今後も支援活動を行うことにより、未来の神社界を担う青年神職の活動の幅が広がると感じました。(大阿久 岩貴)



# 平成二十二年度 栃木県青年神職むすび会事業報告

(平成二十二年)

- 四月 一日 一都七県臨時役員会
- 四月 六日 決算監査会
- 四月 六日 第一回役員・幹事・委員長会議
- 四月 二十一日 第一回一都七県定例会議
- 四月 二十六日 神青協春期セミナー
- 四月 二十七日 神青協第六十二回定例会議
- 四月 二十八日 県内神社例祭 会員奉仕
- 五月 六日 定例総会
- 五月 十一日 御田植祭
- 五月 二十八日 五十周年実行委員会
- 六月 七日 氏青むすび会合同芝球コンペ
- 六月 九日 植樹祭
- 六月 十六日 神青協神田神社正式参拝
- 六月 十六日 神青協一都七県協議会定例総会
- 六月 十八日 那須御用邸清掃奉仕
- 六月 二十五日 五十周年実行委員会
- 七月 二十一日 第二回役員・幹事・正副委員長会議
- 七月 二十七日 茨城県神道青年会視練成研修会
- 八月 三日 祭式研修会
- 八月 九日 五十周年実行委員会
- 八月 十六日 第二回一都七県定例会議
- 八月 二十一日 会員家族親睦会
- 八月 三十(三)日 神青協夏期セミナー
- 九月 二日 神奈川県神道青年会六十周年
- 九月 七日 第三回役員・幹事・正副委員長会議
- 九月 十三日 野球練習
- 九月 二十六日 抜穂祭

東京都神社庁

神社庁

神社庁

神社本庁

神社本庁

神社本庁

護国神社

神社庁

那須烏山市

神社庁

大日向CC

矢板市塩竈神社

東京郡浅草

那須御用邸

二荒山神社

神社庁

鹿島神宮

神社庁

神社本庁

宇都宮

神社本庁

神社本庁

横濱

那須烏山市

駒生球場

那須烏山市

九月二十七日 群馬神青合同野球練習

十月 一日 五十周年実行委員会

十月 六日 第十四回一都七県神職野球大会

十月 六日 神政連栃木県本部四十年大会 宇都宮グランドホテル

十月 二十九日 第三回一都七県定例会議 神社本庁

十一月 九日 神青協臨時総会 神社本庁

十一月 九日 神青協秋期セミナー 神社本庁

十一月 五日 第四回 役員・幹事・正副委員長会議 神社庁

十一月 二十九日 忘年会 鬼怒川温泉

十一月 二十九日 第五回 役員・幹事・正副委員長会議 鬼怒川温泉

十一月 二十九日 神宮式年遷宮PR並びに大麻頒布PR 宇都宮

十二月 二日 第四回一都七県定例会議 神社本庁

(平成二十三年)

一月 十八日 五十周年実行委員会 八坂神社

一月 二十七日 第六回 役員・幹事・委員長五十周年会議 神社庁

一月 二十八日 第五回一都七県定例会議、明治神宮参拝 明治神宮

二月 八日 五十周年実行委員会 八坂神社

二月 十一日 建国記念の日記念式典 宇都宮二荒山神社

二月 十五日 臨時総会 神社庁

二月 二十四日 第一回五十周年実行委員会 八坂神社

三月 四日 第二回五十周年実行委員会 八坂神社

三月 中旬 緊急役員会並びに緊急災害対策臨時委員会設置 神社庁

三月 十七(十八)日 神青協中央研修会(中止) 福井県

三月 十八(十九)日 一都七県協議会研修会(中止) 氣比神宮・京都

三月 二十二日 東北関東大震災支援物資搬入 神社庁

三月 二十四日 東北関東大震災支援物資搬入 仙台

三月 二十七日 一都七県臨時会長会 埼玉県大宮市アウルホテル

# 平成二十二年度 役員・幹事氏名

〔役員〕

会長	荒井 和宏	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副会長	伊藤 史展	塩竈神社	禰宜
副会長	田中 教文	瀧尾神社	宮司
事務局長	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
庶務	町井 康祐	日光二荒山神社	権禰宜
會計	柳田 耕史	大前神社	禰宜
監事	野崎 正之	宇都宮二荒山神社	権禰宜
監事	阿久津喜大	三祖神社	禰宜
監事	沼部 博成	須賀神社	権禰宜
議長	福田 財大	今宮神社	権禰宜

〔幹事〕

宇河支部	上野 敬則	白鷺神社	禰宜
宇都宮二荒山神社	金子 宗人	大前神社	権禰宜
芳賀支部	野澤 功嗣	津島神社	権禰宜
塩谷支部	岩松 史恵	乃木神社	禰宜
南・北那須支部	津田 宏	岩崎神社	禰宜
上都賀支部	田邊 雅祥	磐根神社	禰宜
日光二荒山神社	佐藤 洋誠	唐澤山神社	禰宜
古峯神社	奥村 彩子		
下都賀支部	新井 隆宏		
安佐・足利支部	寺内 誉迪		

# 各種委員会氏名

〔広報委員会〕

委員長	福田 光弘	高麗神社	禰宜
副委員長	神山 拓之	神明宮	宮司
副委員長	岩松 史恵	津島神社	禰宜

〔研修委員会〕

委員長	金子 宗人	宇都宮二荒山神社	権禰宜
副委員長	横瀬 勝宣	賀蘇山神社	禰宜
副委員長	福田 有宏	日光二荒山神社	権禰宜

〔事業委員会〕

委員長	刀川 治久	磐裂根裂神社	禰宜
副委員長	櫻木 琢也	諏訪神社	宮司
副委員長	板垣 喜充	春日神社	禰宜

〔親睦委員会〕

委員長	大阿久岩貴	春日神社	宮司
副委員長	新井 隆宏	磐根神社	禰宜
副委員長	多田 隆一	日光二荒山神社	権禰宜

〔遷宮特別委員会〕

委員長	葭田 真彦	八坂神社	禰宜
副委員長	加古 英之	栃木縣護國神社	禰宜
副委員長	稲葉 成孝	日光二荒山神社	禰宜

〔神宮大麻頒布推進特別委員会〕

委員長	小堀 真洋	八雲神社	宮司
副委員長	野澤 功嗣	大前神社	権禰宜
副委員長	下妻 大介	今宮神社	権禰宜

〔創立五十周年実行委員会〕

委員長	田中 教文	瀧尾神社	宮司
事務	滝口 貴史	八坂神社	権禰宜
事務	柳田 耕史	大前神社	禰宜
會計	横瀬 勝宣	賀蘇山神社	禰宜
監事	沼部 博成	須賀神社	禰宜
監事	福田 財大	今宮神社	権禰宜

新入会員紹介



大塚 聡  
おおつか さとし

住所：芳賀郡市貝町市塙四七四六  
生年月日：昭和61年5月3日

奉務先：白鷺神社

趣味・特技：ドライブ

座右の銘：案ずるより産むが易し

好きな異性のタイプ：心の美しい人

これからの抱負など：この度、むす

び会に入会させて頂きました。

まだまだ神職としても、社会人とし

ても未熟ではありますが、神社界の

益々の発展の為、精一杯努力してゆ

く所存です。

そして、私自身も一人前となれるよ

う、努力してまいりますので、ご指

導ご鞭撻の程、宜しく願います。



石川 元  
いしかわ はじめ

住所：日光市鬼怒川温泉大原五二三  
生年月日：昭和61年6月20日

奉務先：栃木縣護國神社

趣味・特技：音楽演奏 車 二輪  
射撃等

座右の銘：誠実

好きな異性のタイプ：自己中心的な

人は苦手です。

これからの抱負など：本年度より、

むすび会に入会させて頂きました。

ご迷惑をおかけする事もあると思ひ

ますが、何卒宜しく願ひ致します

退会者紹介

荒井 和宏

奉務先：宇都宮二荒山神社

生年月日：昭和43年6月20日

コメント：皆様には大変お世話にな

りました。今後益々のご活躍をお祈り

いたします。応援してます！

早乙女 和弘

奉務先：太平山神社

生年月日：昭和44年6月23日生

コメント：長い間、大変お世話にな

り感謝申し上げます。

むすび会の更なる飛躍を御祈念いた

します。

野崎 正之

奉務先：宇都宮二荒山神社

生年月日：昭和44年12月12日

コメント：この度退会となりますが、

むすび会からは、いろいろ学ばさせ

て頂きました。後輩の皆様も神社界

の為に頑張ってください。

伊藤 史展

奉務先：塩竈神社

生年月日：昭和45年1月5日

コメント：このむすび会にお世話に

なり、あつという間の二十年間でした。

この会での沢山の経験により神職とし

て大変勉強になりました。

これからもこの会で培った事を活かし

神明奉仕に励んでいきます。ありがと

うございました。

國友 和弘

奉務先：中嶋神社

生年月日：昭和45年4月28日生

コメント：大変お世話になりました。

皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

刀川 治久

奉務先：磐裂根裂神社

生年月日：昭和45年12月18日

コメント：むすび会で経験したこと

を今後役立てて奉務していこうと思ひ

ます。

会員の皆様は斬新な提案などで励んで、

ただただればと希望します。お世話に

なりました。

◆退会者紹介◆

加古 英之

奉務先：栃木縣護國神社

生年月日：昭和46年2月3日

コメント：中途からの入会でしたが、

諸先輩や皆様方には大変良くして頂き有難うございました。

このご縁を大切にし、今後とも『行学一致』の精神で日々怠る事なく精進して参りますので、ご教導下さいますようお願い申し上げます。

奥村 彩子

奉務先：古峯神社

生年月日：昭和58年8月24日

コメント：短い間でしたが、大変お世話になりました

これからの皆様の益々の御活躍をお祈り致します。

祝ご結婚

根本 直樹

奉務先：大前神社

挙式日：平成22年9月18日

式場：大前神社

新婦氏名：美沙子 旧姓・関口

本人のコメント：互いに努力し、苦心し、尊重しあつて家庭を築き、神業奉仕に励んでいきたいと思ひます。

奥さんより一言：いつも思いやりをもつて互いに支え合い、楽しい家庭にしていきたいです。

今の気持ちを大切に、何年先も一番安心できる関係でいたいと思ひます。

祝ご誕生

坂本 龍彦

第一子氏名：坂本 琴音(ことね)

生年月日：平成23年1月25日

親からの希望：元気で健康、笑顔で周りの人をなごませる、人の気持ちを気づかえるようなやさしい子に育ってほしい。



宮内庁  
神社本庁・栃木県神社庁・各県神社庁  
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場 **御用達**

# 株式会社 大槻装束店

東京・上野駅前

東京都台東区東上野3丁目17番9号

電話 03(3835)3201(代)

FAX 03(3835)0617

http://www.ootsuki-shozokuten.com



- 〈営業品目〉
- 交通安全御守護
  - 開運招福鈴
  - 文鎮 金盃
  - 各種記念品類
  - 陶像・レリーフ・鑄造類

## 鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1  
TEL. 03-3814-1811 FAX. 03-3818-8332  
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp  
http://www.suzuki-kisho.co.jp

## 各授与品、記念品奉製

金欄綿守、合成樹脂製守、紙札守  
木札、金属製守、反射ステッカー

●その他各種授与品御希望に奉製致します。

## 株式会社 三愛工芸

〒311-4143 水戸市大塚町字谷津1761-16  
TEL 水戸 (029)251-2051(代)  
FAX 水戸 (029)253-5844

## 全国各神社御用達

神符・守札・木札・ビニール守・錦守・集印帳  
交通安全守・御守袋・守護矢・ステッカー  
奉書紙・書道半紙・画仙紙・色紙・他

創業100年 真心で奉仕する

## 今村紙業株式会社

代表取締役 今村 力男

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門6237-11  
TEL 055(272)0514(代)  
FAX 055(272)8818

## 誠実と真心で奉仕する 御守・授与品・参拝記念奉製

御一報次第カタログ御送り致します。



## グリーン産商株式会社

代表取締役 柚木 忠

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号  
TEL 大阪(06)6702-6009番(代)  
FAX 大阪(06)6797-5896番



## 京都奉製株式会社

〔フリーダイヤル〕0120-164124  
〔仙台営業所〕宮城県名取市増田字関下  
電話(022)1381-1397  
二二五〇〇〇街区九西地



環境にやさしい  
おまもりをめざして

創業150年

各種御神符・守札  
その他授与品全般

湊御神符奉製所



## 株式会社 湊

伊勢市神宮会館前(〒516-0025)  
TEL (0596) 22-2442 (代表)  
FAX (0596) 28-8445

## 総合印刷

## (株)井上総合印刷

代表取締役 井上光夫

本社 宇都宮市岩曾町1355

TEL (028)661-4723  
FAX (028)662-7607

## 御社頭授与品奉製

※御希望通りの御調製申し上げます。  
御一報次第参上致します。

## 新日本工芸株式会社

〒311-4153  
茨城県水戸市河和田町3891  
電話 (029) 251-0997(代)  
FAX (029) 252-8287

神祭具・御装束・雅楽器類  
結婚式場調度

## (株)高善装束店

代表取締役 桑 眞一

〒113-0021 東京都文京区本駒込3-2-9  
TEL 03(5815) 8771  
FAX 03(5815) 8772

平成25年 祝 第62回 伊勢神宮式年遷宮



お伊勢参りのお食事とお土産は

伊勢名物 岩戸餅

宇治橋より30秒!!  
伊勢内宮前

## 岩戸屋

〒516-0024  
伊勢市宇治今在家町58番地  
☎ (0596) 23-3188(代)  
FAX (0596) 28-1322  
<http://www.iwatoya.co.jp>  
E-Mail: [iwatoya@iwatoya.co.jp](mailto:iwatoya@iwatoya.co.jp)

## 営業品目

縁起物入おみくじ・金属製守・木札守・紙札守  
金欄綿守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

## 株式会社 阿部

本社・工場 〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡213-7  
TEL (0282) 62-1010 (代表)  
FAX (0282) 62-2061

株式会社 民俗工芸 〒857-1162  
長崎県佐世保市御本町18-1

TEL 0120-534-550 FAX 0120-872-550

URL: <http://www.minzoku.co.jp> 土曜日も平常通り営業致しております  
インターネットからの御注文も承っております



麻・鈴緒・合織α縄(注連縄)製造

## 有限会社 モミヂヤ

〒328-0042 栃木市沼和田町12-14  
フリーダイヤル 0120-22-1312  
FAX 0282-22-1387  
<http://www.t-cnet.or.jp/~monidiya/f-top>

## 社寺建築請負い

## 株式会社 石川工務店

代表取締役 石川 明

〒321-1406 栃木県日光市松原町1233番地  
TEL 0288-53-0408

## とちぎ風の湯



柏倉温泉

## 太子館

〒328-0066 栃木県栃木市柏倉町967  
TEL (0282) 23-5035(代) FAX (0282) 23-5082  
<http://www.taishikan.jp> ☎ 0120-235035



**祈りをこめて**

神社授与品・記念品御奉製

株式会社 長谷川製作所

代表取締役 長谷川 和夫

本社 〒114-0004 東京都北区尾崎3-20-13 TEL 03-3912-6161(代) FAX 03-3912-3131  
 草加営業所 〒340-0025 埼玉県草加市谷塚仲町466-1  
 TEL 048-921-1221(代) FAX 048-921-1515



内宮に一番近い宿・どなたでもご利用いただけます

早朝参拝のご案内をしております

ゆとりとやすらぎの宿

**神宮会館**

(財)伊勢神宮崇敬会

—ご宿泊に関するお問い合わせは—

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152  
 TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

<http://www.jingukaikan.jp>

**ようこそお伊勢さんへ**

勢乃國屋では、豊富なおみやげ品、伊勢の郷土料理を用意して、皆様のお越しをお待ちしております。どうぞお気軽にお立ち寄りください。

～ 伊勢路の土産と御食事処 ～



伊勢内宮前  
**勢乃國屋**

〒516-0024 伊勢市宇治今在家町117  
 TEL 0596-23-5555  
 FAX 0596-23-1928  
 URL <http://www.senokuniya.co.jp>  
 E-mail [info@senokuniya.co.jp](mailto:info@senokuniya.co.jp)

社頭授与品専門奉製所

(主要奉製品意匠権所有に付、侵害厳禁)

**常陸神宝(株)**

〒310-0067 水戸市根本1丁目53-4  
 ☎(水戸) 029 (227) 0511(代)  
 FAX(水戸) 029 (227) 0512

県内各神社様、工事拜命先(順不同)

日光東照宮	矢板木幡神社
日光二荒山神社	小川温泉神社
宇都宮二荒山神社	足利権崎八幡宮
真岡大前神社	佐野人丸神社
大田原那須神社	下野一社八幡宮
西那須野乃木神社	祖母井神社
氏家今宮神社	足利八雲神社
足利星宮神社	一幡塚稲荷神社

株式会社 **小西美術工芸社**

〒321-1421 栃木県日光市所野2829-1  
 〒108-0014 東京都港区芝4-4-5 IHKMビル3階  
 TEL 日光(0288)54-1198(代) TEL 東京(03)5765-1481(代)

政府登録ホテル

**栃木グランドホテル**

○屋上ビアガーデン ○スナック プチモンド  
 ○居酒屋 四季 ○レストラン カーディナル

〒328-0015  
 栃木市万町6-11  
 TEL . 0282-22-1236(大代表)  
 TEL . 0282-22-5200  
<http://www5.ocn.ne.jp/~tgh/>

高精細印刷  
 700線カラー印刷をお試し下さい

**BEAMS** ビームス700プレミアム  
**700 Premium**

再現不可能な微細で高画質を再現印刷

ビームスとは…伴印刷が提唱する品質と環境保護を考えた次世代の印刷システムです。



伴印刷株式会社  
 宇都宮市栄町6-10  
 TEL 028-622-8901 FAX 028-622-4525  
 URL://WWW.bannet.com

**大当たりのお手伝い**



株式会社 下野広告社  
 〒320-0051 宇都宮市上戸祭町555-4  
 TEL028-666-8123 FAX028-666-8133



編集後記

本年も「会報むすび」が発行できましたことを厚く御礼申し上げます。偏にご寄稿ご協力を下さいました皆様、ご協賛を賜りました尊社の皆様方のお陰と心より感謝申し上げます。

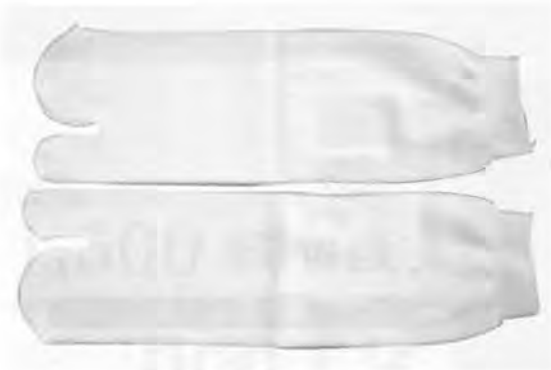
本年は記録的な猛暑に加え、火山の噴火、口蹄疫の流行、東日本大震災と全国各地が甚大な災害に見舞われました。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

最後になりますが、今後とも皆様方のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。



広報委員会 氏名

委員長	福田	光弘
副委員長	神山	拓之
副委員長	岩松	史恵
委員	早乙女	和弘
委員	國友	和弘
委員	橋口	幸司
委員	黒川	寧子
委員	津田	亮
委員	寺内	誉迪
委員	田邊	達也
委員	小堀	照美
委員	奥村	彩子



足袋の中にはく靴下

タビックス

5足組

¥500 (送料別)

12足組

¥1,000 (送料別)



# 「手持ち付き 御神酒箱」

一升瓶が入るサイズ

●箱サイズ：11×11×48cm

年度内価格

3箱 **¥500** のところ → 5箱 **¥600**

※配送の場合は、1箱150円で50箱単位

栃木県青年神職むすび会 頒布品

着帯のお祝い  
(安産祈願)

## 腹帯



〈岩田帯〉

頒布価格(1箱)

**¥1,000** (送料別)

くじら尺を用いて、縁起の良い7尺5寸3分（約3m）に裁断し高級感ある桐箱に納めました。中の帯は縦に二つ折にし、巻き納めてあります。  
(解説書在中)



式年遷宮に伴い、大麻頒布運動として

のぼりを頒布しております。

年度内価格

通常価格

¥1,500



2枚で

¥1,000

(送料別)

■サイズ：177×59cm ※ポールは扱っておりません。

ご注文  
問い合わせ

〒321-4411 栃木県栃木市大平町横堀330 春日神社内

栃木県青年神職むすび会 事業委員会

委員長 板垣 善充宛 ※ご注文はFAXにて受付致します。

FAX/0282-23-5456 電話/080-5645-4432

